

ゴールデンウィーク恒例、
様々なジャンルの気鋭クリエイター100組によるアートフェスティバル

SICF15

Spiral Independent Creators Festival 15

会期 A日程：2014年5月3日（土・祝日）— 4日（日・祝日） 11:00 – 19:00
B日程：2014年5月5日（月・祝日）— 6日（火・振替） 11:00 – 19:00
会場 スパイラルホール（スパイラル 3F）

スパイラルは、次代を担うクリエイターの発掘・育成・支援を目的としたアートフェスティバル「SICF15」（第15回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）を今年もゴールデンウィークにスパイラルホール（スパイラル 3F）で開催します。

「SICF」は、ジャンルにとらわれない様々な表現の若手クリエイター100組が一堂に会し、個性と可能性を秘めたプレゼンテーションを各ブースで展開します。そして、日本のカルチャーシーンを牽引する審査員によって、グランプリ、準グランプリ、各審査員賞を選出、さらに来場者の投票によってオーディエンス賞を決定し、各賞を授与します。

ゴールデンウィークは、新しい才能に会いに行こう。



「SICF14」会場風景



SICF15
Spiral Independent Creators Festival



上左：二宮佐和子（B日程：ブースNO.32）

上右：福重美幸子（A日程：ブースNO.3）

下：坂本のどか（B日程：ブースNO.2）

※「SICF15」より、展示壁が白壁となり、作品がより際立つ展示空間で作品をご鑑賞いただけます。

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理、加藤美穂
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp/>

spiral.

新たな個性と出会い、隠れた才能を発掘する「SICF」

「SICF」には、ジャンルの規定がありません。期間中、会場には 50 のブースが並び、2 会期に分けて合計 100 組のクリエイターが既存の概念にとらわれない自由な発想の意欲的なプレゼンテーションを繰り広げます。各ブースには参加クリエイターが常駐し、来場者は作品をただ観るだけでなく、作家の思いを訊いたり、気に入った作品を購入したり、つくり手との直接的な対話をすることができます。そして、気に入ったクリエイターに投票をする事により、オーディエンス賞決定の一端を担います。本展で出会ったクリエイターが、次代の日本文化の担い手となるかもしれません。未知の才能と出会う開かれた発表の場として、多くのコミュニケーションが生まれる「SICF」は、これまでギャラリストやコレクター、アートディレクター、プレス関係者の方々と、若手クリエイターを結び付け、参加者の活動の幅を広げるきっかけとなってきました。絵画、写真、映像、プロダクト、ファッション、立体作品、インスタレーションやそれらの垣根を越えた表現など、新たな才能がきっと見つかります。さらに、今回から展示ブースの壁が白壁となり、作品がより際立つ展示空間で作品をご覧ください。

ゴールデンウィークに開催するアートイベントとして、この機会にぜひご取材、ご掲載をご検討くださいますようお願いいたします。



「SICF」会場風景 撮影：市川勝弘

SICF15 出展者 100 組決定！

A日程 (2014年5月3日— 4日)

木内祐子／宮本和之／福重美幸子／伊藤幾子／半沢マリ／Kaori Kumagai／岩本有未／富松篤／63mokko／
ツチ屋サユリ／渡辺ちえみ／坂本千弦／倉持至宏／橋本瞳／水島浩美／斉藤圭太／小笠原圭吾／相良裕介／
長谷川依与／山内喬博／小滝タケル／今実佐子／Tani-Tani／秋山早紀／藤原綾子／奥田一生／Akari Uragami／
石村まなみ／松浦廣樹＋中静志帆／鯉沼絵里子／稲垣遊／アーサー・ファン／坂梨慈兼／中嶋明希／沼田かおり／
近藤南／高柳麻美子／オガサワラミチ／竹浪音羽／山田弘幸／CHIKAKO YAJIMA／クラトミタカユキ／
手代木チカ／高橋つばさ／Yoruko Okamura／松井圭太郎／水田茂夫／前池有香／楠本衣里佳／上路市剛

B日程 (2014年5月5日— 6日)

Atelier Light Palette／坂本のどか／松下裕子／内海仁／大島亜佐子／菅本智／平野早依子／須合芳江／
久野彩子／SHOPE-N／酒匂彩名／渡部直也／Lavinba／名倉聡美／川崎愛子／中根佑子／坪島悠貴／
山田ラッキー／国吉晶子／草薙涼子／島崎園／酒井望／勢藤明紗子／湯口萌香／Shinharajuku／RURI SAITO／
福島浩二／PARFUM SYMPHONIE／塚崎愛／木村吉邦／猪鼻貴正／二宮佐和子／鈴木僚／山本優美／
佐直麻里子／郡智子／内藤愛／ヒグラシユウイチ／長谷川寧／HUIT／匿名／Task Q／Fujita Yoshiko／
bamboo grass mountain／氷見こずえ／Ryan Edquist／ムラサキユリエ／田添琴英／原口比奈子／荻原林太郎

SICF15 開催概要

- 名称 「SICF15」(第15回 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)
- 会期 A日程: 2014年5月3日(土・祝日) - 4日(日・祝日) 11:00 - 19:00
B日程: 2014年5月5日(月・祝日) - 6日(火・振替) 11:00 - 19:00
※両日程ともに50組2日間ずつ
- 会場 スパイラルホール(スパイラル3F)
〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23
東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅B1、B3出口すぐ
- 入場料 一日券: 一般700円/学生500円
- 審査員 浅井隆(有限会社アップリンク 社長/「webDICE」編集長)
(敬称略) 佐藤尊彦(BEAMS プレス)
紫牟田伸子(編集家/プロジェクトエディター)
南條史生(森美術館館長)
岡田勉(スパイラル チーフキュレーター)
- 主催: 株式会社ワコールアートセンター
協賛: 東京リスマチック株式会社
協力: CLIP、株式会社ステージフォー
企画制作: スパイラル
グラフィックデザイン: FORM::PROCESS
お問い合わせ: 03-3498-1171 (スパイラル代表)

同時開催 SICF14 受賞者展 開催概要

2013年5月に開催された「SICF14」で各賞を受賞したクリエイターの新作を展示します。

- 会期 2014年5月3日(土・祝日) - 5月6日(火・振替)
- 会場 エスプラナード(スパイラルM2F) / スパイラルホール ホワイエ(スパイラル3F)
※スパイラルホール ホワイエの展示は「SICF15」の入場料が必要です。
- 出展者 グランプリ: 塩見友梨奈 / 準グランプリ: 石野平四郎 / 準グランプリ: クラークソン瑠璃 /
オーディエンス賞: osage / 浅井隆賞: 鈴切り絵 / 後藤繁雄賞: 若生友見 /
紫牟田伸子賞: GABOMI / スパイラル奨励賞: 栗田有佳

【SICF受賞者支援事例紹介】

塩見友梨奈 (SICF14 グランプリ受賞)

「SICF14」でグランプリを受賞した塩見友梨奈さんの個展をスパイラル1Fのショウケースで開催しました。スパイラル広報紙 Spiral Paper no.135 (3月29日発行)では、現代美術家・ヤノベケンジさんとの対談記事「作家として第二の誕生をむかえて」を掲載しています。対談の様子は、SICF ウェブサイト (www.sicf.jp) でも4月上旬からご覧頂けます。



「SICF14」グランプリ受賞作
『首吊りピリヤー』



SICF14 グランプリアーティスト展
塩見友梨奈「2780」
(2013年10月開催)



SICF 受賞者特別対談
ヤノベケンジ×塩見友梨奈

栗田有佳 (SICF14 スパイラル奨励賞受賞)

2014年のスパイラルの年賀状アートワーク制作を栗田有佳さんが手掛けました。



「SICF14」出展作品
鮭のドローイング



2014年スパイラルの年賀状

【参考資料】SICF 過去受賞者の特別対談を SICF ウェブで公開中

<http://www.sicf.jp/interview/>

SICF 出展をきっかけに、活動の幅を広げている受賞者の方とその活動をサポートして下さっている方との対談を SICF ウェブでご紹介しています。

▶ アートコレクター 武内竜一 × 切り絵美術家 悠 (SICF13 南條史生賞受賞)

「SICF で出会った作り手とコレクター、作り手たちのそれから」



武内竜一

ただ作りたい一心で作ってきたのが、「SICF」で色々な人に見てもらって、自分も色々な作品を見るということをしたら、自分の足りていなかった部分がはっきり見えてきた。【悠】



悠

▶ ハイスイノナサ 照井順政 × 映像作家 大西景太 (SICF12 スパイラル奨励賞受賞)

「映像作家と作曲家の出会いから生まれたミュージックビデオ『地下鉄の動態』をめぐって」



照井順政

「ハイスイノナサの音楽と合う」と直感したらしく「SICF」の会場で声をかけてくれたんです。【大西】



大西景太

▶ 森美術館館長 南條史生 × 写真家 高崎紗弥香 (SICF13 準グランプリ受賞)

「作家として生きる、作家としてつくるとのこと」



南條史生

日本では、若い作家がどこで作品を見せて次のステップに進んで行くか、ということがなかなか見えない難しさがあるよね。「SICF」はその入口の一つになっているんだね。【南條】



高崎紗弥香

▶ 現代美術家 ヤノベケンジ × アーティスト 塩見友梨奈 (SICF14 グランプリ受賞)

「作家として第二の誕生をむかえて」 (※4月上旬公開予定)



ヤノベケンジ

(塩見さんの) 一つのステップが「SICF」で発動されたような気がします。【ヤノベ】



塩見友梨奈